

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科： 地理歴史 科目： 地理総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1～6組： 谷口）

使用教科書：（第一学習社 高等学校地理総合 世界を学び、地域をつくる）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】地理歴史に関する諸事象を理解し、さまざまな情報を適切かつ効果的に調べた技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】地理歴史の諸事象を多面的・多角的に考察し、その内容を適切に表現できるようになる。
- 【学びに向かう力、人間性等】地理歴史の諸事象に関わる課題を主体的に追及し、よりよい社会の実現に寄与する姿勢を身に付ける。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象を理解し、さまざまな情報を適切かつ効果的に調べた技能を身に付けている。	地理に関わる諸事象を多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想をもとに議論する力を身に付けている。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及、解決しようとする態度を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 私たちが暮らす世界 【知識及び技能】 世界地図や地球儀での表現方法ならびに日本の位置や領域についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地球上の位置に関する事柄について、緯度・経度や世界地図・地球儀や領域の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地球上の位置に関する事柄に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究する。	・緯度や経度の基本的な事柄を理解する。 ・世界地図と地球儀についての基本的な事柄を理解する。 ・日本の位置と領域、日本が抱える領土問題について理解する。 教材： ・教科書、資料集、地図帳 ・一人1台端末等	【知識及び技能】 世界地図や地球儀での表現方法ならびに日本の位置や領域についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地球上の位置に関する事柄について、緯度・経度や世界地図・地球儀や領域の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地球上の位置に関する事柄に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究している。	○	○	○	3
B 地図や地理情報システムの役割 【知識及び技能】 地図についての基本的な事柄を理解させ、その知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな地図について、縮尺・媒体・用途などに着目し、適切に整理する。 【学びに向かう力、人間性等】 紙の地図やGISに対する関心を高め、閲覧や作業を通して、それらの特徴をとらえる。	・地図の分類についての基本的な事柄を理解する。 ・地形図や地理院地図についての基本的な事柄を理解する。 ・主題図についての基本的な事柄を理解する。 ・地理情報システム（GIS）についての基本的な事柄を理解する。 ・教材： ・教科書、資料集、地図帳 ・一人1台端末等	【知識及び技能】 地図についての基本的な事柄を理解させ、その知識を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな地図について、縮尺・媒体・用途などに着目させ、適切に整理している。 【学びに向かう力、人間性等】 紙の地図やGISに対する関心を高め、閲覧や作業を通して、それらの特徴をとらえている。	○	○	○	2
定期考査			○	○		1
C 資料から読み取る現代世界 【知識及び技能】 ・交通・通信の利用・整備の状況や国境をこえた人・モノ・情報の移動、世界の国家群などについて基本的な事柄と追究の方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・グローバル化の加速によって形成された地域経済圏や国家群について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察させ、適切に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・グローバル化の進む現代世界において、政治的・経済的な国家間の結び付きが強まっていることに対する関心と課題意識を高める。	・交通の発達と世界の一体化、さまざまな交通手段についての基本的な事柄を理解する。 ・情報通信網やさまざまな通信技術、それらの発達についての基本的な事柄を理解する。 ・国境をこえて移動をする人々やその目的、移動する地域についての基本的な事柄を理解する。 ・世界の貿易額の特徴や産業構造の変化についての基本的な事柄を理解する。 ・世界にあるさまざまな国家群についての基本的な事柄を理解する。 ・教材： ・教科書・資料集・地図帳 ・一人1台端末等	【知識・技能】 交通・通信の利用・整備の状況や国境をこえた人・モノ・情報の移動、世界の国家群などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・グローバル化の加速によって形成された地域経済圏や国家群について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、適切に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グローバル化の進む現代世界において、政治的・経済的な国家間の結び付きが強まっていることに対する関心と課題意識を高めている。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

公民 科目 公共

教科： 公民 科目： 公共 単位数： 2 単位
 対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組
 教科担当者：（1組：吉森） （2組：山口） （3組：山口） （4組：吉森） （5組：山口） （6組：吉森）
 使用教科書：（実教 公共 704 公共）
 教科 公民 の目標：
 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念・理論及び倫理、政治、経済に関わる現代の諸課題について理解している
 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について事実を元に概念などを用いて多面的・多角的に考察し、解決策を公正に判断できる
 【学びに向かう力、人間性等】 国家及び社会の形成者としてよりよい社会の実現のため、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている
 科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し選択判断するための手掛かりについて理解する力を養うと共に、倫理的主体等として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	現代の諸課題について、公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察すると共に、構想について議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとするとともに、公共的な空間に生き国民権を担う公民として自国を愛し、その平和と繁栄を図ろうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 公共の扉 【知識及び技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など公共的な空間の基本原則について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 公共的な空間の基本原則について思考実験などの概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会とのかかわりについて多面的・多角的に考察し、表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的により良い公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体として幸福、正義、公正などに着目して現代社会の課題を追及・解決する方法を意識する。	指導項目： ・政治と国家に必要な要素について理解する。 ・民主政治が成立した過程について理解する。 ・社会契約説について理解する ・法の支配の考え方と基本的人権の歴史的な発展、立憲主義の考え方について理解する。 ・議会制民主主義と多数決原理、民主政治の課題について理解する。 ・各国の政治体制について理解する。 教材： ・教科書 ・プレゼンテーションツール ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など公共的な空間の基本原則について理解できている。 【思考・判断・表現】 公共的な空間の基本原則について思考実験などの概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会とのかかわりについて多面的・多角的に考察し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的により良い公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体として幸福、正義、公正などに着目して現代社会の課題を追及・解決しようとしている。	○	○	○	5
B 日本国憲法の基本的性格 【知識及び技能】 法や規範の意義及び役割、司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に憲法の下、適正な手続きに則り法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し個人や社会の紛争を調停・解決することなどを通して権利や自由が保障、実現させ、社会の秩序が形成、維持されて行く事について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 憲法や法に関わる各事項を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成を視野に入れながらその主題の解決に向けて協働して考察・構想したことを根拠をもって表現する力を養わせる。 【学びに向かう力、人間性等】 小学校及び中学校で学んだ知識などを基盤に、前単元で身に付けた公共的な空間の基本原理を活用して現実社会の諸課題に関り設定した主題について多面的・多角的に考察するとともに、他者との協働を可能にする要因や協働を阻害する要因について考察を深める。	指導項目： ・日本国憲法の成立の背景と明治憲法との相違点について理解する。 ・自由権・参政権・社会権等の各基本的人権の内容について理解する。 ・死刑制度や様々な差別、生存権の保障など人権に関する現代社会の課題について理解する。 ・「新しい人権」の内容とそれが求められるようになった背景について理解する。 ・社会的暴力による人権侵害や人権の国際化について理解する。 ・公共の福祉について理解する。 ・憲法上の平和主義の内容と日米安保体制が誕生した背景について理解する。 ・1990年代以降の安全保障体制の変容と今日の課題について理解する。 教材： ・教科書 ・プレゼンテーションツール ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 法や規範の意義及び役割、司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に憲法の下、適正な手続きに則り法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し個人や社会の紛争を調停・解決することなどを通して権利や自由が保障、実現させ、社会の秩序が形成、維持されて行く事について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 憲法や法に関わる各事項を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成を視野に入れながらその主題の解決に向けて協働して考察・構想したことを根拠をもって表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 小学校及び中学校で学んだ知識などを基盤に、前単元で身に付けた公共的な空間の基本原理を活用して現実社会の諸課題に関り設定した主題について多面的・多角的に考察するとともに、他者との協働を可能にする要因や協働を阻害する要因について考察を深めようとしている。	○	○	○	10

2 学 期	<p>A 日本の政治機構と政治参加</p> <p>【知識及び技能】 政治参加と公正な世論の形成、地方自治、国家主権、領域、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割に関わる現実社会の事柄や課題を基により良い社会は憲法の下、個人が議論に参加し意見や利害の対立状況を調整して合意を形成する事などを通して築かれるものであることについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 前単元及び政治に関わる各事項を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成を視野に入れながらその主題の解決に向けて協働して考察・構想したことを根拠をもって表現する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地方自治や我が国の民主政治の発展に寄与しようとする自覚や住民・国民としての自治意識の涵養に向けて民主政治における選挙の意義について意識を向ける。</p>	<p>指導項目： ・国会の役割や権限、運営について理解する。 ・内閣の権限や議院内閣制の仕組みについて理解する。 ・行政権の拡大と官僚政治の課題、その転換に向けた様々な改革について理解する。 ・司法権の独立や裁判の仕組み、各種裁判所役割について理解する。 ・違憲立法審査権について理解する。 ・裁判員制度や検察審査会の意義について理解する。 ・地本自治の本旨である団体自治と住民自治について理解する。 ・地方自治の政治的・経済的課題について理解する。 ・政党政治の課題について理解する。 ・政治的無関心や無党派層の増加などの課題について理解する。</p> <p>教材： ・教科書 ・プレゼンテーションツール ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 政治参加と公正な世論の形成、地方自治、国家主権、領域、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割に関わる現実社会の事柄や課題を基により良い社会は憲法の下、個人が議論に参加し意見や利害の対立状況を調整して合意を形成する事などを通して築かれるものであることについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 前単元及び政治に関わる各事項を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成を視野に入れながらその主題の解決に向けて協働して考察・構想したことを根拠をもって表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地方自治や我が国の民主政治の発展に寄与しようとする自覚や住民・国民としての自治意識の涵養に向けて民主政治における選挙の意義について意識している。</p>	○	○	○	10
	<p>B 現代の経済社会</p> <p>【知識及び技能】 職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢化における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて資源の効率的な配分が行われること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府が担っていること及びそれによって活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 前単元までに身につけた法・政治及び経済など側面を関連させ自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会選択を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察・構想したものを表現する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 多様な契約及び消費者の権利と責任などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、法や規範に基づいて権利や自由が保障、実現され社会の秩序が形成、維持されていくことについて意識を向ける。</p>	<p>指導項目： ・生産・分配・消費、希少性、トレードオフ、機会費用など、経済の根本的な概念について理解する。 ・資本主義経済の成立と展開、経済における政府の役割の変化について理解する。 ・需要と供給により価格と生産量が変化することについて理解する。 ・希少な資源の効率的配分をもたらす市場機構や、寡占や独占、外部不経済、情報の非対称性など市場機能の限界について理解する。 ・有限責任と無限責任の考え方や株式会社の仕組みについて理解する。 ・NIの生産・分配・支出のそれぞれの内容、GDPなどの経済指標では計りきれない福祉的側面からの指標や環境的側面からの指標、社会的側面からの指標などがあることについて理解する。 ・金融は、信用創造等により、家計や企業からの資金を様々な経済主体に投資することで資本を増加させ、生産性を高め、社会を豊かに発展させる役割を担っていることについて理解する。 ・中央銀行の役割や金融政策の目的と手段について理解する。 ・政府の経済政策には、効率と公正、経済成長と環境保全など、相互に対立する可能性のある目標の実現を調整する必要があることについて理解する。</p> <p>教材： ・教科書 ・プレゼンテーションツール ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢化における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて資源の効率的な配分が行われること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府が担っていること及びそれによって活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 前単元までに身につけた法・政治及び経済など側面を関連させ自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会選択を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察・構想したものを表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 多様な契約及び消費者の権利と責任などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、法や規範に基づいて権利や自由が保障、実現され社会の秩序が形成、維持されていくことについて意識している。</p>	○	○	○	10
	定期調査			○	○		1
<p>C 日本経済の特質と国民生活</p> <p>【知識及び技能】 多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢化社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて資源の効率的な配分が行われること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 前単元までに学習した法・政治・経済に関する知識を基に、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 多面的・多角的な考察や深い理解を通して多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用・労働問題、少子高齢化社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決する意識をもつ。</p>	<p>指導項目： ・戦後復興、高度経済成長期、安定成長期、現在の成長率パブル経済の発生と崩壊などの背景や要因について理解する。 ・中小企業が日本経済の発展に寄与してきた役割について理解する。 ・後継者不足のために黒字経営であっても廃業を選ぶ中小企業がある状況を知り、事業継承が課題となっていることについて理解する。 ・ベンチャー企業や社会的企業のように、大企業では事業を進められなかった分野で活躍する中小企業のあり方について理解する。 ・農業基本法や食料・農業・農村基本法、食糧管理制度や新食糧法などの農業政策の流れについて理解する。 ・食料安全保障の観点から、日本の食料自給率と貿易の関係について理解する。 ・典型的な消費者問題や悪質商法にはどのようなものがあるか理解する。 ・日本における公害の発生と原因について理解する。 ・労働基本権と労働三法の内容並びに職場における不当な差別的扱いがあつてはならず、そのための法整備と対策が急がれることについて理解する。 ・社会保障は高齢者だけのものではなく、社会に参加するすべての世代について検討されるべきものであることを理解する。</p> <p>教材： ・教科書 ・プレゼンテーションツール ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢化社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて資源の効率的な配分が行われること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 前単元までに学習した法・政治・経済に関する知識を基に、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 多面的・多角的な考察や深い理解を通して多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用・労働問題、少子高齢化社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	8	

2 学 期	D 国際政治の動向と課題 【知識及び技能】 国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり、国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとする意識をもつ。	指導項目： ・主権国家と国際社会の成り立ちや国際社会には中央政府のようなものが存在しておらず、そのなかで各国が国家利益を調整する国際政治が行われていることについて理解する。 ・二度の世界大戦を契機として、国際法に大きな変化が生じたことを理解する。 ・国際司法裁判所や国際刑事裁判所が設立され、NGOをはじめ多様な主体が活動するなど、国際政治に変化が生じていることを理解する。 ・国際連盟の成立と崩壊の歴史的経緯、勢力均衡と集団安全保障の違いや、その機能について理解する。 ・冷戦構造の概要と共に冷戦終結後に民族紛争が多発したことを適切に読み取っている。また、国家間の戦争が対テロ戦争の様相を示した経過について理解する。 ・民族問題について、問題の所在や解決に向けた働きかけの推移について理解する。 ・核抑止論の考え方について理解している。また、安全保障のジレンマのために軍縮が進められてきた経過について理解する。 ・戦後の主権回復と国際社会への復帰についてその経過を理解する。 ・アジア諸国との国交正常化が進められる一方、賠償のあり方をめぐって裁判が繰り返されるなど、根本的な解決には至っていない現状を理解する。 教材： ・教科書 ・プレゼンテーションツール ・一人1台端末の活用 等	D 国際政治の動向と課題 【知識及び技能】 国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり、国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとする意識をもつ。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
3 学 期	A 国際経済の動向と課題 【知識及び技能】 経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、世界経済がより緊密に結び付き、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど、国際社会において相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとする意識をもつ。	指導項目： ・自由貿易のメリットと国際分業の利益について、多国籍企業の展開と合わせて比較生産費をもとに理解する。 ・保護貿易が提唱される理由や近年では先進国においても保護貿易的な動きがみられることを理解する。 ・円高や円安が日本経済に与える影響について、輸入業者や輸出業者の具体的な取引をもとに理解する。 ・IMFとGATTに代表される国際経済体制及び固定為替相場制から変動為替相場制へと移行した歴史的な経過について、その概要を理解する。 ・EUを例として、FTAやEPAやその他地域でどのように経済統合されていったかを理解する。 ・グローバル化した世界において、多国籍企業の存在が大きくなっていくことを理解する。 ・資源産出国が自国の権益を保護しようとした歴史的な経過について理解する。また発展途上国の中でも、高い成長を記録した国がある一方、絶対的な貧困に悩む国がある現状を理解する。 ・BRICSともいわれる新興国の中でも、とくに中国が世界的な影響力を強めており、一帯一路構想の下で一大経済圏を形成しようとしていることを理解する。 教材： ・教科書 ・プレゼンテーションツール ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、世界経済がより緊密に結び付き、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど、国際社会において相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	10
	B 持続可能な社会をめざして 【思考力、判断力、表現力等】 地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 この科目のまともな位置付け、社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、第1部で身に付けた選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理などを活用するとともに、第1部及び第2部で扱った課題などへの関心をもち、	指導事項 ・第1部で身に付けた選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理などを活用するとともに、第1部及び第2部で習得した知識及び技能を活用する。 教材： ・教科書 ・プレゼンテーションツール ・一人1台端末の活用 等	【思考力、判断力、表現力等】 地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述させる。 【学びに向かう力、人間性等】 この科目のまともな位置付け、社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、第1部で身に付けた選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理などを活用するとともに、第1部及び第2部で扱った課題などへの関心を一層高める。	○	○	○	5
定期考査			○	○		1	

高等学校 令和7年度（2学年用）教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合 単位数：3 単位
 対象学年組：第2学年 1組～6組
 教科担当者：（1組：根岸）（2組：吉森）（3組：根岸）（4組：吉森）（5組：根岸）（6組：吉森）
 使用教科書：（明解 歴史総合）

教科 地理歴史 の目標：
 【知識及び技能】世界および日本の地理歴史を理解するとともに、様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
 【思考力、判断力、表現力等】地理歴史に関わる事象を考察したり、課題の解決に向けて構想したり、説明・議論したりする力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】地理歴史に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 歴史総合	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
世界とその他の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	近現代の歴史的事象の意味や意義、特色などを多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
	【学びに向かう力、人間性等】
	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、わが国の文化を愛し、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

1 学 期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配 当 時 数
				知	思	態	
	A 近代化への始動 【知識及び技能】18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会やヨーロッパの近代市民社会を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】18世紀のアジア諸国とヨーロッパ諸国の経済が互いに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】本単元の学習内容に関心をもち、主体的に学習する態度を養う。	・指導事項 ヨーロッパの海外進出と市民社会 清の繁栄 東アジア諸国間の貿易 江戸時代の日本の対外政策 江戸時代の社会と生活 ・教材 教科書、資料集、ワークブック、 スタディサプリ	【知識・技能】18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会やヨーロッパの近代市民社会を理解している。 【思考・判断・表現】8世紀のアジア諸国とヨーロッパ諸国の経済が互いに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】前近代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。	○	○	○	5
	B 欧米の市民革命と国民国家の形成 【知識及び技能】産業革命と交通・通信手段の革新、工業化と世界史上の形成、18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】産業革命や国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、欧米諸国の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】本単元の学習内容に関心をもち、主体的に学習する態度を養う。	・指導事項 イギリス産業革命 アメリカ独立革命 フランス革命とナポレオン ウィーン体制 19世紀のイギリスとフランス イタリア・ドイツの統一 東方問題と19世紀のロシア アメリカの発展と分裂 世界市場の形成 ・教材 教科書、資料集、ワークブック、 スタディサプリ	【知識・技能】日本の開国、明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などに関連づけて、立憲体制と国民国家の形成を理解している。 【思考・判断・表現】産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】19世紀半ばのアジアと世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	C アジアの変容と日本の近代化 【知識及び技能】日本の開国、明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などに関連づけて、立憲体制と国民国家の形成を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】本単元の学習内容に関心をもち、主体的に学習している。	・指導事項 イスラーム世界の改革と再編 南アジア・東南アジアの改革と再編 アヘン戦争の衝撃 ゆらぐ幕藩体制 開国 幕末政局と社会変動 新政府の成立と諸改革 富国強兵と文明開化 近代的な国家関係と国境・領土の画定 自由民権運動の高まり 立憲国家の成立 ・教材 教科書、資料集、ワークブック、 スタディサプリ	【知識・技能】産業革命と交通・通信手段の革新、工業化と世界史上の形成、18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解している。 【思考・判断・表現】産業革命や国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、欧米諸国の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】近代ヨーロッパの歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1

<p>D帝国主義の時代</p> <ul style="list-style-type: none"> ・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解させる。 ・帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・本単元の内容に関心を持たせ、主体的に学習する態度を養う。 	<p>・指導事項 帝国主義と世界分割 帝国主義期の欧米社会 条約改正 日清戦争 日露戦争から韓国併合へ 日本の産業革命と社会問題 アジア諸民族の独立運動・立憲革命</p> <p>・教材 教科書、資料集、ワークブック、スタディサプリ</p>	<p>【知識・技能】列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】19世紀末～20世紀初頭の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。</p>	○	○	○	8
定期考査			○	○		1
<p>E第一次世界大戦と大衆社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解させる。 ・大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解させる。 ・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察、表現させる。 ・第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察、表現させる。 	<p>・指導事項 緊迫する国際関係 第一次世界大戦 ロシア革命とシベリア出兵 大戦景気と米騒動 ヴェルサイユ体制とワシントン体制 西アジア・南アジアの民族運動 東アジア・東南アジアの民族運動 戦間期の欧米 広がる社会運動と普通選挙の実現 政党内閣の時代</p> <p>・教材 教科書、資料集、ワークブック、スタディサプリ</p>	<p>【知識・技能】第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。</p> <p>・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】1910～1920年代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。</p>	○	○	○	10
<p>F経済危機と第二次世界大戦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解させる。 ・第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解させる。 ・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 	<p>・指導事項 世界恐慌 ファシズムの時代 満州事変と軍部の台頭 日中戦争 第二次世界大戦とアジア太平洋戦争 戦争と民衆 敗戦 国際連合と戦後世界 戦後の占領の始まり 民主化と日本国憲法 冷戦の開始 朝鮮戦争と日本</p> <p>・教材 教科書、資料集、ワークブック、スタディサプリ</p>	<p>【知識・技能】世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解している。</p> <p>・第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】第二次世界大戦前後の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	○	○	○	14
定期考査			○	○		1

2
学
期



3 学 期	G冷戦と脱植民地化 ・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理、日本の高度経済成長などを基に、国際政治の変容を理解させる。 ・地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、日本の高度経済成長の背景と影響、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察、表現させる。	・指導事項 冷戦対立の推移 植民地の独立と第三世界の出現 米ソ両陣営の動揺 日本の国際社会復帰と高度経済成長 ・教材 教科書、資料集、ワークブック、スタディサプリ	【知識・技能】脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理、日本の高度経済成長などを基に、国際政治の変容を理解している。 【思考・判断・表現】地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、日本の高度経済成長の背景と影響、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】1950～1970年代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	○	○	○	4
	H多極化する世界 ・石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解させる。 ・アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現させる。	・指導事項 石油危機と世界経済 緊張緩和から冷戦の終結へ 地域協力の進展 日本の経済大国化 ・教材 教科書、資料集、ワークブック、スタディサプリ	【知識・技能】石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解している。 【思考・判断・表現】アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較するなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】1989年以降の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。	○	○	○	4
	Iグローバル化と現代世界 冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解させる。 ・冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現させる。	・指導事項 冷戦体制の終結 地域紛争と世界経済 グローバルな認識へ ・教材 教科書、資料集、ワークブック、スタディサプリ	【知識・技能】冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。 【思考・判断・表現】冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
						合計	
						69	

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1組～ 6組

教科担当者：（1組：久保寺）（2組：久保寺）（5組：久保寺）（6組：久保寺）

使用教科書：（明解 歴史総合）

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】世界および日本の地理歴史を理解するとともに、様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理歴史に関わる事象を考察したり、課題の解決に向けて構想したり、説明・議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理歴史に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う

科目 歴史総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	近現代の歴史的事象の意味や意義、特色などを多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、わが国の文化を愛し、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 近代化への始動 【知識及び技能】18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会やヨーロッパの近代市民社会を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】18世紀のアジア諸国とヨーロッパ諸国の経済が互いに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】本単元の学習内容に関心を持たせ、主体的に学習する態度を養う。	・指導事項 ヨーロッパの海外進出と市民社会 清の繁栄 東アジア諸国間の貿易 江戸時代の日本の対外政策 江戸時代の社会と生活 ・教材 教科書、資料集、ワークブック、スタディサプリ	【知識・技能】18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会やヨーロッパの近代市民社会を理解している。 【思考・判断・表現】8世紀のアジア諸国とヨーロッパ諸国の経済が互いに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】前近代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。	○	○	○	3
B 欧米の市民革命と国民国家の形成 【知識及び技能】産業革命と交通・通信手段の革新、工業化と世界史上の形成、18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】産業革命や国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、欧米諸国の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】本単元の学習内容に関心を持たせ、主体的に学習する態度を養う。	・指導事項 イギリス産業革命 アメリカ独立革命 フランス革命とナポレオン ウィーン体制 19世紀のイギリスとフランス イタリア・ドイツの統一 東方問題と19世紀のロシア アメリカの発展と分裂 世界市場の形成 ・教材 教科書、資料集、ワークブック、スタディサプリ	【知識・技能】日本の開国、明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などと関連づけて、立憲体制と国民国家の形成を理解している。 【思考・判断・表現】産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】19世紀半ばのアジアと世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1

1
学
期

<p>C アジアの変容と日本の近代化</p> <p>【知識及び技能】日本の開国、明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などと関連づけて、立憲体制と国民国家の形成を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】本単元の学習内容に関心を持ち、主体的に学習している。</p>	<p>・指導事項 イスラーム世界の改革と再編 南アジア・東南アジアの改革と再編 アヘン戦争の衝撃 ゆらぐ幕藩体制 開国 幕末政局と社会変動 新政府の成立と諸改革 富国強兵と文明開化 近代的な国家関係と国境・領土の画定 自由民権運動の高まり 立憲国家の成立</p> <p>・教材 教科書、資料集、ワークブック、スタディサプリ</p>	<p>【知識・技能】産業革命と交通・通信手段の革新、工業化と世界史上の形成、18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】産業革命や国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、欧米諸国の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】近代ヨーロッパの歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>定期考査</p>			○	○		1

	<p>D帝国主義の時代</p> <ul style="list-style-type: none"> ・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解させる。 ・帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・本単元の内容に関心を持たせ、主体的に学習する態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 帝国主義と世界分割 帝国主義期の欧米社会 条約改正 日清戦争 日露戦争から韓国併合へ 日本の産業革命と社会問題 アジア諸民族の独立運動・立憲革命 ・教材 教科書、資料集、ワークブック、スタディサプリ 	<p>【知識・技能】列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】19世紀末～20世紀初頭の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。</p>	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>E第一次世界大戦と大衆社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解させる。 ・大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がり理解させる。 ・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察、表現させる。 ・第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察、表現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 緊迫する国際関係 第一次世界大戦 ロシア革命とシベリア出兵 大戦景気と米騒動 ヴェルサイユ体制とワシントン体制 西アジア・南アジアの民族運動 東アジア・東南アジアの民族運動 戦間期の欧米 広がる社会運動と普通選挙の実現 政党内閣の時代 ・教材 教科書、資料集、ワークブック、スタディサプリ 	<p>【知識・技能】第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。</p> <p>・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】1910～1920年代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>F経済危機と第二次世界大戦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解させる。 ・第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解させる。 ・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 世界恐慌 ファシズムの時代 満州事変と軍部の台頭 日中戦争 第二次世界大戦とアジア太平洋戦争 戦争と民衆 敗戦 国際連合と戦後世界 戦後の占領の始まり 民主化と日本国憲法 冷戦の開始 朝鮮戦争と日本 ・教材 教科書、資料集、ワークブック、スタディサプリ 	<p>【知識・技能】世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解している。</p> <p>・第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】第二次世界大戦前後の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

3 学 期	G冷戦と脱植民地化 ・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理、日本の高度経済成長などを基に、国際政治の変容を理解させる。 ・地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、日本の高度経済成長の背景と影響、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察、表現させる。	・指導事項 冷戦対立の推移 植民地の独立と第三世界の出現 米ソ両陣営の動揺 日本の国際社会復帰と高度経済成長 ・教材 教科書、資料集、ワークブック、スタディサプリ	【知識・技能】脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理、日本の高度経済成長などを基に、国際政治の変容を理解している。 【思考・判断・表現】地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、日本の高度経済成長の背景と影響、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】1950～1970年代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	○	○	○	2
	H多極化する世界 ・石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解させる。 ・アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現させる。	・指導事項 石油危機と世界経済 緊張緩和から冷戦の終結へ 地域協力の進展 日本の経済大国化 ・教材 教科書、資料集、ワークブック、スタディサプリ	【知識・技能】石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解している。 【思考・判断・表現】アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較するなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】1989年以降の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。	○	○	○	2
	Iグローバル化と現代世界 冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解させる。 ・冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現させる。	・指導事項 冷戦体制の終結 地域紛争と世界経済 グローバルな認識へ ・教材 教科書、資料集、ワークブック、スタディサプリ	【知識・技能】冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。 【思考・判断・表現】冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
						合計	
						50	

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科：地理歴史 科目：世界史探究

単位数：4 単位

対象学年組：第 3 学年 3 組～ 4 組

教科担当者：（3組：根岸）（4組：根岸）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（世界史探究 高校世界史 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】世界および日本の地理歴史を理解するとともに、様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理歴史に関わる事象を考察したり、課題の解決に向けて構想したり、説明・議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理歴史に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、中学社会の内容及び地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
			知	思	態	
A 文明の成立と古代文明の特質 【知識及び技能】古代文明について、地理的条件と関連付け理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】古代文明について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】古代文明について学習することにより、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	1 文明の誕生 2 古代オリエント文明とその周辺 3 南アジアの古代文明 4 中国の古代文明 5 南北アメリカ文明	【知識・技能】歴史の枠組みと展開について、地理的条件と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】歴史の枠組みと展開の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。	○	○	○	5
B 中央ユーラシアと東アジア世界 【知識及び技能】中央ユーラシアや東アジアの古代史について、地理的条件と関連付け理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】中央ユーラシアや東アジアの古代史について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】中央ユーラシアや東アジアの古代史について学習することにより、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	1 中央ユーラシア 2 秦・漢帝国 3 北方民族の活動と中国の分裂 4 東アジア文明圏の形成	【知識・技能】歴史の枠組みと展開について、地理的条件と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】歴史の枠組みと展開の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。	○	○	○	8
C 南アジア世界と東南アジア世界の展開 【知識及び技能】南アジア・東南アジアの古代史について、地理的条件と関連付け理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】南アジア・東南アジアの古代史について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】中央ユーラシアや東アジアの古代史について学習することにより、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	1. 仏教の成立と南アジアの統一国家 2. インド古典文化とヒンドゥー教の定着 3. 東南アジア世界の形成と展開	【知識・技能】歴史の枠組みと展開について、地理的条件と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】歴史の枠組みと展開の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。	○	○	○	8
D 西アジアと地中海周辺の国家形成 【知識及び技能】イラン・ギリシア・ローマの古代文明について、地理的条件と関連付け理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】イラン・ギリシア・ローマの古代文明について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】イラン・ギリシア・ローマの古代文明について学習することにより、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	1. イラン諸国家の興亡とイラン文明 2. ギリシア世界 3. ローマと地中海支配	【知識・技能】歴史の枠組みと展開について、地理的条件と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】歴史の枠組みと展開の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1

<p>二期</p>	<p>E イスラム教の成立とヨーロッパ世界の形成</p> <p>【知識及び技能】イスラム教やヨーロッパ世界の形成について、地理的条件と関連付け理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】イスラム教やヨーロッパ世界の形成について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】イスラム教やヨーロッパ世界の形成について学習することにより、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>1. アラブの大征服とカリフ政権の成立</p> <p>2. ヨーロッパ世界の形成</p>	<p>【知識・技能】歴史の枠組みと展開について、地理的条件と関連付けながら理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】歴史の枠組みと展開の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。</p>	○	○	○	8
	<p>F イスラム教の伝播と西アジアの動向</p> <p>【知識及び技能】イスラム世界や中世ヨーロッパについて、地理的条件と関連付け理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】イスラム世界や中世ヨーロッパについて、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】イスラム世界や中世ヨーロッパについて学習することにより、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>1. イスラム教の諸地域への伝播</p> <p>2. 西アジアの動向</p>	<p>【知識・技能】歴史の枠組みと展開について、地理的条件と関連付けながら理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】歴史の枠組みと展開の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。</p>	○	○	○	8
	<p>G ヨーロッパ世界の変容と展開</p> <p>【知識及び技能】中世ヨーロッパの社会について、地理的条件と関連付け理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】中世ヨーロッパの社会について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】中世ヨーロッパの社会について学習することにより、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>1. 西ヨーロッパの封建社会</p> <p>2. 東ヨーロッパ世界</p> <p>3. 西ヨーロッパ世界の变容</p> <p>4. 中世文化</p>	<p>【知識・技能】歴史の枠組みと展開について、地理的条件と関連付けながら理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】歴史の枠組みと展開の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。</p>	○	○	○	8
	<p>H 東アジア世界の展開とモンゴル帝国</p> <p>【知識及び技能】宋王朝や元王朝、モンゴル帝国について、地理的条件と関連付け理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】宋王朝や元王朝、モンゴル帝国について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】宋王朝や元王朝、モンゴル帝国について学習することにより、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>1. 宋とアジア諸地域の自立化</p> <p>2. モンゴルの大帝国</p>	<p>【知識・技能】歴史の枠組みと展開について、地理的条件と関連付けながら理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】歴史の枠組みと展開の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。</p>	○	○	○	8
<p>定期考査</p>				○	○		1

<p>A 大交易・大交流の時代 【知識及び技能】アジアの大交易時代とヨーロッパの海洋進出について、地理的条件と関連付け理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】アジアの大交易時代とヨーロッパの海洋進出について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】アジアの大交易時代とヨーロッパの海洋進出について学習することにより、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>1. アジア交易世界の興隆 2. ヨーロッパの海洋進出、アメリカ大陸の変容</p>	<p>【知識・技能】歴史の枠組みと展開について、地理的条件と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】歴史の枠組みと展開の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。</p>				8
<p>B アジアの諸帝国の繁栄 【知識及び技能】オスマン帝国やムガル帝国、清朝について、地理的条件と関連付け理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】オスマン帝国やムガル帝国、清朝について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】オスマン帝国やムガル帝国、清朝について学習することにより、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>1. オスマン帝国とサファヴィー朝 2. ムガル帝国の興隆 3. 清代の中国と隣接諸地域</p>	<p>【知識・技能】歴史の枠組みと展開について、地理的条件と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】歴史の枠組みと展開の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。</p>	○	○	○	8
<p>C 近世ヨーロッパ世界の動向 【知識及び技能】近世ヨーロッパ世界の動向について、地理的条件と関連付け理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】近世ヨーロッパ世界の動向について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】近世ヨーロッパ世界の動向について学習することにより、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>1. ルネサンス 2. 宗教改革 3. 主権国家体制の成立 4. オランダ・イギリス・フランスの台頭 5. 北欧・東欧の動向 6. 科学革命と啓蒙思想</p>	<p>【知識・技能】歴史の枠組みと展開について、地理的条件と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】歴史の枠組みと展開の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。</p>	○	○	○	8
<p>D 産業革命と環太平洋革命 【知識及び技能】産業革命と環太平洋革命について、地理的条件と関連付け理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】産業革命と環太平洋革命について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】産業革命と環太平洋革命について学習することにより、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>1. 産業革命 2. アメリカ合衆国の独立と発展 3. フランス革命とナポレオンの支配 4. 中南米諸国の独立</p>	<p>【知識・技能】歴史の枠組みと展開について、地理的条件と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】歴史の枠組みと展開の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。</p>	○	○	○	8
<p>E イギリスの優位と欧米国民国家の形成 【知識及び技能】欧米国民国家の形成について、地理的条件と関連付け理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】欧米国民国家の形成について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】欧米国民国家の形成について学習することにより、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>1. ウィーン体制と政治・社会の変動 2. 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 3. アメリカ合衆国の発展 4. 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄</p>	<p>【知識・技能】歴史の枠組みと展開について、地理的条件と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】歴史の枠組みと展開の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。</p>	○	○	○	8
<p>定期考査</p>			○	○		1

2
学
期

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史演習

教科：地理歴史 科目：世界史演習

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 3 組～ 4 組

教科担当者：（3 組：根岸）（4 組：根岸）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（世界史探究 高校世界史 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】世界および日本の地理歴史を理解するとともに、様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理歴史に関わる事象を考察したり、課題の解決に向けて構想したり、説明・議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理歴史に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 世界史演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 文明の成立と古代文明の特質 【知識及び技能】古代文明について、地理的条件と関連付け理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】古代文明について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】古代文明について学習することにより、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	1 文明の誕生 2 古代オリエント文明とその周辺 3 南アジアの古代文明 4 中国の古代文明 5 南北アメリカ文明	【知識・技能】歴史の枠組みと展開について、地理的条件と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】歴史の枠組みと展開の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究すること、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。	○	○	○	2
B 中央ユーラシアと東アジア世界 【知識及び技能】中央ユーラシアや東アジアの古代史について、地理的条件と関連付け理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】中央ユーラシアや東アジアの古代史について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】中央ユーラシアや東アジアの古代史について学習することにより、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	1 中央ユーラシア 2 秦・漢帝国 3 北方民族の活動と中国の分裂 4 東アジア文明圏の形成	【知識・技能】歴史の枠組みと展開について、地理的条件と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】歴史の枠組みと展開の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究すること、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。	○	○	○	2
C 南アジア世界と東南アジア世界の展開 【知識及び技能】南アジア・東南アジアの古代史について、地理的条件と関連付け理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】南アジア・東南アジアの古代史について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】中央ユーラシアや東アジアの古代史について学習することにより、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	1. 仏教の成立と南アジアの統一国家 2. インド古典文化とヒンドゥー教の定着 3. 東南アジア世界の形成と展開	【知識・技能】歴史の枠組みと展開について、地理的条件と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】歴史の枠組みと展開の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究すること、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。	○	○	○	3

<p>D 西アジアと地中海周辺の国家形成</p> <p>【知識及び技能】イラン・ギリシア・ローマの古代文明について、地理的条件と関連付け理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】イラン・ギリシア・ローマの古代文明について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】イラン・ギリシア・ローマの古代文明について学習することにより、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>1. イラン諸国家の興亡とイラン文明</p> <p>2. ギリシア世界</p> <p>3. ローマと地中海支配</p> <p>4. キリスト教の成立と発展</p>	<p>【知識・技能】歴史の枠組みと展開について、地理的条件と関連付けながら理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】歴史の枠組みと展開の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。</p>	○	○	○	3
<p>E イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成</p> <p>【知識及び技能】イスラーム教やヨーロッパ世界の形成について、地理的条件と関連付け理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】イスラーム教やヨーロッパ世界の形成について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】イスラーム教やヨーロッパ世界の形成について学習することにより、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>1. アラブの大征服とカリフ政権の成立</p> <p>2. ヨーロッパ世界の形成</p>	<p>【知識・技能】歴史の枠組みと展開について、地理的条件と関連付けながら理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】歴史の枠組みと展開の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。</p>	○	○	○	3
<p>F イスラーム教の伝播と西アジアの動向</p> <p>【知識及び技能】イスラーム世界や中世ヨーロッパについて、地理的条件と関連付け理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】イスラーム世界や中世ヨーロッパについて、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】イスラーム世界や中世ヨーロッパについて学習することにより、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>1. イスラーム教の諸地域への伝播</p> <p>2. 西アジアの動向</p>	<p>【知識・技能】歴史の枠組みと展開について、地理的条件と関連付けながら理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】歴史の枠組みと展開の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。</p>	○	○	○	2
<p>G ヨーロッパ世界の変容と展開</p> <p>【知識及び技能】中世ヨーロッパの社会について、地理的条件と関連付け理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】中世ヨーロッパの社会について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】中世ヨーロッパの社会について学習することにより、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>1. 西ヨーロッパの封建社会</p> <p>2. 東ヨーロッパ世界</p> <p>3. 西ヨーロッパ世界の変容</p> <p>4. 中世文化</p>	<p>【知識・技能】歴史の枠組みと展開について、地理的条件と関連付けながら理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】歴史の枠組みと展開の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。</p>	○	○	○	3
<p>H 東アジア世界の展開とモンゴル帝国</p> <p>【知識及び技能】宋王朝や元王朝、モンゴル帝国について、地理的条件と関連付け理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】宋王朝や元王朝、モンゴル帝国について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】宋王朝や元王朝、モンゴル帝国について学習することにより、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>1. 宋とアジア諸地域の自立化</p> <p>2. モンゴルの大帝国</p>	<p>【知識・技能】歴史の枠組みと展開について、地理的条件と関連付けながら理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】歴史の枠組みと展開の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。</p>	○	○	○	3

<p>A 大交易・大交流の時代 【知識及び技能】 アジアの大交易時代とヨーロッパの海洋進出について、地理的条件と関連付け理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 アジアの大交易時代とヨーロッパの海洋進出について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 アジアの大交易時代とヨーロッパの海洋進出について学習することにより、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>1. アジア交易世界の興隆 2. ヨーロッパの海洋進出、アメリカ大陸の変容</p>	<p>【知識・技能】 歴史の枠組みと展開について、地理的条件と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】 歴史の枠組みと展開の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究すること、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。</p>				3
<p>B アジアの諸帝国の繁栄 【知識及び技能】 オスマン帝国やムガル帝国、清朝について、地理的条件と関連付け理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 オスマン帝国やムガル帝国、清朝について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 オスマン帝国やムガル帝国、清朝について学習することにより、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>1. オスマン帝国とサファヴィー朝 2. ムガル帝国の興隆 3. 清代の中国と隣接諸地域</p>	<p>【知識・技能】 歴史の枠組みと展開について、地理的条件と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】 歴史の枠組みと展開の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究すること、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。</p>	○	○	○	3
<p>C 近世ヨーロッパ世界の動向 【知識及び技能】 近世ヨーロッパ世界の動向について、地理的条件と関連付け理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 近世ヨーロッパ世界の動向について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 近世ヨーロッパ世界の動向について学習することにより、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>1. ルネサンス 2. 宗教改革 3. 主権国家体制の成立 4. オランダ・イギリス・フランスの台頭 5. 北欧・東欧の動向 6. 科学革命と啓蒙思想</p>	<p>【知識・技能】 歴史の枠組みと展開について、地理的条件と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】 歴史の枠組みと展開の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究すること、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。</p>	○	○	○	3
<p>D 産業革命と環太平洋革命 【知識及び技能】 産業革命と環太平洋革命について、地理的条件と関連付け理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 産業革命と環太平洋革命について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 産業革命と環太平洋革命について学習することにより、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>1. 産業革命 2. アメリカ合衆国の独立と発展 3. フランス革命とナポレオンの支配 4. 中南米諸国の独立</p>	<p>【知識・技能】 歴史の枠組みと展開について、地理的条件と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】 歴史の枠組みと展開の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究すること、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。</p>	○	○	○	3

高等学校 令和7年度（3学年用）教科

地理歴史 科目 日本史探究

教科：地理歴史

科目：日本史探究

単位数：4 単位

対象学年組：第3学年 1組～4組

教科担当者：（1組：久保寺）（2組：久保寺）（3組：久保寺）（4組：久保寺）（組： ）（組： ）

使用教科書：（高校日本史 ）

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】世界および日本の地理歴史を理解するとともに、様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理歴史に関わる事象を考察したり、課題の解決に向けて構想したり、説明・議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理歴史に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う

科目 日本史探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 日本文化のあけほの 【知識及び技能】日本列島における旧石器文化・縄文文化・弥生文化の成立と変化を理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】旧石器文化・縄文文化・弥生文化について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】旧石器文化・縄文文化・弥生文化について学習することにより、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	1 文化の始まり 2 農耕の開始	【知識・技能】日本列島における旧石器文化・縄文文化・弥生文化の成立と変化を、自然環境の変化や大陸からの影響に着目して理解している。 【思考・判断・表現】遺物や遺構など考古学上の知見から、旧石器文化・縄文文化・弥生文化の社会について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化・縄文文化・弥生文化の特色を明らかにしようとしている。	○	○	○	4
B 古墳とヤマト政権 【知識及び技能】渡来人のもたらしたものと推古朝の政治の特色を理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】渡来人のもたらしたものと推古朝の政治の特色について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】渡来人のもたらしたものと推古朝の政治の特色について学習することにより、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	1 古墳文化の展開 2 飛鳥の朝廷	【知識・技能】中国大陸・朝鮮半島との関係に着目し、渡来人のもたらしたものと推古朝の政治の特色を理解している。 【思考・判断・表現】諸資料を収集して分析し、ヤマト政権の発展や古墳文化の特色、推古朝の政治について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。	○	○	○	4
C 律令国家の形成 【知識及び技能】隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響を理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響について学習することにより、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	1 律令国家への道 2 平城京の時代 3 律令国家の文化 4 律令国家の変容	【知識・技能】隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響を理解している。 【思考・判断・表現】歴史の枠組みと展開の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響などに着目して、律令政治と平安時代についての課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6
D 貴族政治の展開 【知識及び技能】摂関政治の展開について、律令体制の変容を理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】摂関政治の展開について、律令体制の変容について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】摂関政治の展開について、律令体制の変容について学習することにより、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	1 摂関政治 2 国風文化 3 荘園の発達と武士団の成長	【知識・技能】摂関政治の展開について、律令体制の変容を関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】地方支配の変化に着目し、奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特質とその後の展開について、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、日本史を学ぶ意味や意義を見出している。	○	○	○	4
定期考査			○	○		1

1 学 期	E 院政と武士の進出 【知識及び技能】貴族政治や土地支配の変容を理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】貴族政治や土地支配の変容について、律令体制の変容について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】貴族政治や土地支配の変容について学習することにより、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	1 院政の始まり 2 院政と平氏政権	【知識・技能】貴族政治や土地支配の変容について、地理的条件と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】貴族政治や土地支配の変容を、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、日本史を学ぶ意味や意義を見出している。	○	○	○	3
	F 武家政権の成立 【知識及び技能】源平の争乱から執権政治確立までの歴史過程、封建制度の成立、鎌倉幕府と朝廷による二元的支配の構造、執権政治の特質、御家人の特質やその地域支配を理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】源平の争乱から執権政治確立までの歴史過程、封建制度の成立、鎌倉幕府と朝廷による二元的支配の構造、執権政治の特質、御家人の特質やその地域支配について、律令体制の変容について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】源平の争乱から執権政治確立までの歴史過程、封建制度の成立、鎌倉幕府と朝廷による二元的支配の構造、執権政治の特質、御家人の特質やその地域支配について学習することにより、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	1 鎌倉幕府の成立と展開 2 モンゴル襲来と幕府の衰退 3 鎌倉文化	【知識・技能】源平の争乱から執権政治確立までの歴史過程、封建制度の成立、鎌倉幕府と朝廷による二元的支配の構造、執権政治の特質、御家人の特質やその地域支配について、地理的条件と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】源平の争乱から執権政治確立までの歴史過程、封建制度の成立、鎌倉幕府と朝廷による二元的支配の構造、執権政治の特質、御家人の特質やその地域支配を、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、日本史を学ぶ意味や意義を見出している。	○	○	○	6
	G 武士社会の成長 【知識及び技能】鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球やアイヌの文化の形成を理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球やアイヌの文化の形成について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球やアイヌの文化の形成について学習することにより、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	1 室町幕府の成立 2 下剋上の社会 3 室町文化 4 戦国の動乱	【知識・技能】鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球やアイヌの文化の形成について、地理的条件と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球やアイヌの文化の形成を、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、日本史を学ぶ意味や意義を見出している。	○	○	○	8
	H 近世の幕開け 【知識及び技能】織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響を理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響について学習することにより、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	1 天下人の登場 2 豊臣政権と桃山文化	【知識・技能】織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響について、地理的条件と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響を、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、日本史を学ぶ意味や意義を見出している。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>A 幕藩体制の成立と展開</p> <p>【知識及び技能】幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成を理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成について学習することにより、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>1 幕政の改革と天啓・天明期の文化</p> <p>2 江戸幕府の衰退</p> <p>3 化政文化</p>	<p>【知識・技能】産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想的展開、庶民の生活と文化などについて、地理的条件と関連付けながら理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想的展開、庶民の生活と文化などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、日本史を学ぶ意味や意義を見出している。</p>				11
	<p>B 幕藩体制の動揺</p> <p>【知識及び技能】産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想的展開、庶民の生活と文化などを理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想的展開、庶民の生活と文化などについて、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想的展開、庶民の生活と文化などについて学習することにより、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>1. オスマン帝国とサファヴィー朝</p> <p>2. ムガル帝国の興隆</p> <p>3. 清代の中国と隣接諸地域</p>	<p>【知識・技能】歴史の枠組みと展開について、地理的条件と関連付けながら理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】歴史の枠組みと展開の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。</p>	○	○	○	7
	<p>C 近世から近代へ</p> <p>【知識及び技能】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化を理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について学習することにより、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>1 開国とその影響</p> <p>2 幕府の滅亡と新政府の発足</p>	<p>【知識・技能】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について、地理的条件と関連付けながら理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化を、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、日本史を学ぶ意味や意義を見出している。</p>	○	○	○	4
	<p>D 近代国家の成立</p> <p>【知識及び技能】明治政府による中央集権化の諸政策と土族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮を理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】明治政府による中央集権化の諸政策と土族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】明治政府による中央集権化の諸政策と土族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について学習することにより、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>1 明治維新</p> <p>2 立憲国家の成立</p>	<p>【知識・技能】明治政府による中央集権化の諸政策と土族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、地理的条件と関連付けながら理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】明治政府による中央集権化の諸政策と土族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮を、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、日本史を学ぶ意味や意義を見出している。</p>	○	○	○	5
	<p>E 近代国家の展開と国際関係</p> <p>【知識及び技能】日清・日露戦争の前後における条約改正の実現、韓国併合や満洲への勢力拡張などを理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】日清・日露戦争の前後における条約改正の実現、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】日清・日露戦争の前後における条約改正の実現、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて学習することにより、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>1 大陸政策の展開</p> <p>2 第一次世界大戦と日本</p> <p>3 ワシントン体制</p>	<p>【知識・技能】日清・日露戦争の前後における条約改正の実現、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて、地理的条件と関連付けながら理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】日清・日露戦争の前後における条約改正の実現、韓国併合や満洲への勢力拡張などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、日本史を学ぶ意味や意義を見出している。</p>	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

	F 近代の産業と生活 【知識及び技能】産業の発達の背景と影響などを理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】産業の発達の背景と影響などについて、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】産業の発達の背景と影響などについて学習することにより、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	1 近代産業の発展 2 近代の文化 3 市民生活の変容と大衆文化	【知識・技能】産業の発達の背景と影響などについて、地理的条件と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】産業の発達の背景と影響などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、日本史を学ぶ意味や意義を見出している。	○	○	○	4
	G 恐慌と第二次世界大戦 【知識及び技能】国際社会やアジア近隣諸国との関係などを理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】国際社会やアジア近隣諸国との関係などについて、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】国際社会やアジア近隣諸国との関係などについて学習することにより、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	1 恐慌の時代 2 軍部の台頭 3 第二次世界大戦	【知識・技能】国際社会やアジア近隣諸国との関係などについて、地理的条件と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】国際社会やアジア近隣諸国との関係などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、日本史を学ぶ意味や意義を見出している。	○	○	○	9
	H 現代の世界と日本 【知識及び技能】第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などを理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などについて、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などについて学習することにより、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。 定期考査	1 占領下の改革と主権の回復 2 55年体制と高度経済成長 3 現代の情勢	【知識・技能】第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などについて、地理的条件と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、日本史を学ぶ意味や意義を見出している。	○	○	○	10
				○	○		1
3 学 期	テーマ史の探究および問題演習	入試問題の学習・解説	【知識・技能】大学入試共通テストの過去問題に取り組んでいる。 【思考・判断・表現】テーマ史の探究に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】問題演習やテーマ史探究に主体的に取り組んでいる。				
							合計
							99

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史演習

教科： 地理歴史 科目： 日本史演習 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 4 組

教科担当者： （1組：久保寺） （2組：久保寺） （3組：久保寺） （4組：久保寺） （組： ） （組： ）

使用教科書： （ 高校日本史 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】世界および日本の地理歴史を理解するとともに、様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理歴史に関わる事象を考察したり、課題の解決に向けて構想したり、説明・議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理歴史に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う

科目 日本史演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 日本文化のあけほの 【知識及び技能】日本列島における旧石器文化・縄文文化・弥生文化の成立と変化を理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】旧石器文化・縄文文化・弥生文化について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】旧石器文化・縄文文化・弥生文化について学習することにより、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	1 文化の始まり 2 農耕の開始	【知識・技能】日本列島における旧石器文化・縄文文化・弥生文化の成立と変化を、自然環境の変化や大陸からの影響に着目して理解している。 【思考・判断・表現】遺物や遺構など考古学上の知見から、旧石器文化・縄文文化・弥生文化の社会について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化・縄文文化・弥生文化の特色を明らかにしようとしている。	○	○	○	4
B 古墳とヤマト政権 【知識及び技能】渡来人のもたらしたものと推古朝の政治の特色を理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】渡来人のもたらしたものと推古朝の政治の特色について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】渡来人のもたらしたものと推古朝の政治の特色について学習することにより、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	1 古墳文化の展開 2 飛鳥の朝廷	【知識・技能】中国大陸・朝鮮半島との関係に着目し、渡来人のもたらしたものと推古朝の政治の特色を理解している。 【思考・判断・表現】諸資料を収集して分析し、ヤマト政権の発展や古墳文化の特色、推古朝の政治について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。	○	○	○	4
C 律令国家の形成 【知識及び技能】隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響を理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響について学習することにより、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	1 律令国家への道 2 平城京の時代 3 律令国家の文化 4 律令国家の変容	【知識・技能】隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響を理解している。 【思考・判断・表現】歴史の枠組みと展開の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響などに着目して、律令政治と平安時代についての課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6
D 貴族政治の展開 【知識及び技能】摂関政治の展開について、律令体制の変容を理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】摂関政治の展開について、律令体制の変容について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】摂関政治の展開について、律令体制の変容について学習することにより、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	1 摂関政治 2 国風文化 3 荘園の発達と武士団の成長	【知識・技能】摂関政治の展開について、律令体制の変容を関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】地方支配の変化に着目し、奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特質とその後の展開について、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、日本史を学ぶ意味や意義を見出している。	○	○	○	4
定期考査			○	○		1

1 学期	<p>E 院政と武士の進出</p> <p>【知識及び技能】貴族政治や土地支配の変容を理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】貴族政治や土地支配の変容について、律令体制の変容について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】貴族政治や土地支配の変容について学習することにより、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>1 院政の始まり</p> <p>2 院政と平氏政権</p>	<p>【知識・技能】貴族政治や土地支配の変容について、地理的条件と関連付けながら理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】貴族政治や土地支配の変容を、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、日本史を学ぶ意味や意義を見出している。</p>	○	○	○	3
	<p>F 武家政権の成立</p> <p>【知識及び技能】源平の争乱から執権政治確立までの歴史過程、封建制度の成立、鎌倉幕府と朝廷による二元的支配の構造、執権政治の特質、御家人の特質やその地域支配を理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】源平の争乱から執権政治確立までの歴史過程、封建制度の成立、鎌倉幕府と朝廷による二元的支配の構造、執権政治の特質、御家人の特質やその地域支配について、律令体制の変容について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】源平の争乱から執権政治確立までの歴史過程、封建制度の成立、鎌倉幕府と朝廷による二元的支配の構造、執権政治の特質、御家人の特質やその地域支配について学習することにより、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>1 鎌倉幕府の成立と展開</p> <p>2 モンゴル襲来と幕府の衰退</p> <p>3 鎌倉文化</p>	<p>【知識・技能】源平の争乱から執権政治確立までの歴史過程、封建制度の成立、鎌倉幕府と朝廷による二元的支配の構造、執権政治の特質、御家人の特質やその地域支配について、地理的条件と関連付けながら理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】源平の争乱から執権政治確立までの歴史過程、封建制度の成立、鎌倉幕府と朝廷による二元的支配の構造、執権政治の特質、御家人の特質やその地域支配を、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、日本史を学ぶ意味や意義を見出している。</p>	○	○	○	6
	<p>G 武家社会の成長</p> <p>【知識及び技能】鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球やアイヌの文化の形成を理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球やアイヌの文化の形成について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球やアイヌの文化の形成について学習することにより、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>1 室町幕府の成立</p> <p>2 下剋上の社会</p> <p>3 室町文化</p> <p>4 戦国の動乱</p>	<p>【知識・技能】鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球やアイヌの文化の形成について、地理的条件と関連付けながら理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球やアイヌの文化の形成を、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、日本史を学ぶ意味や意義を見出している。</p>	○	○	○	8
	<p>H 近世の幕開け</p> <p>【知識及び技能】織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響を理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響について学習することにより、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>1 天下人の登場</p> <p>2 織豊政権と桃山文化</p>	<p>【知識・技能】織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響について、地理的条件と関連付けながら理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響を、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、日本史を学ぶ意味や意義を見出している。</p>	○	○	○	3
	<p>定期考査</p>			○	○		1

<p>A 幕藩体制の成立と展開</p> <p>【知識及び技能】幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成を理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成について学習することにより、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>1 幕政の改革と宝暦・天明期の文化</p> <p>2 江戸幕府の衰退</p> <p>3 化政文化</p>	<p>【知識・技能】産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などについて、地理的条件と関連付けながら理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、日本史を学ぶ意味や意義を見出している。</p>				11
<p>B 幕藩体制の動揺</p> <p>【知識及び技能】産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などについて、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などについて学習することにより、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>1. オスマン帝国とサファヴィー朝</p> <p>2. ムガル帝国の興隆</p> <p>3. 清代の中国と隣接諸地域</p>	<p>【知識・技能】歴史の枠組みと展開について、地理的条件と関連付けながら理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】歴史の枠組みと展開の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。</p>	○	○	○	7
<p>C 近世から近代へ</p> <p>【知識及び技能】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化を理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について学習することにより、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>1 開国とその影響</p> <p>2 幕府の滅亡と新政府の発足</p>	<p>【知識・技能】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について、地理的条件と関連付けながら理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化を、多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを説明したり議論したりできる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、日本史を学ぶ意味や意義を見出している。</p>	○	○	○	4

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 公民 科目 政治経済

教科： 公民 科目： 政治経済 単位数： 4 単位
 対象学年組： 第 3 学年 3 組～ 7 組
 教科担当者： （3組：小川） （4組：山口） （5組：小川） （6組：山口） （7組：小川）
 使用教科書： （ 実教出版 最新 政治経済 703 政治経済 ）
 教科 公民 の目標：
 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念・理論及び倫理、政治、経済に関わる現代の諸課題について理解している
 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について事実を元に概念などを用いて多面的・多角的に考察し、解決策を公正に判断できる
 【学びに向かう力、人間性等】 国家及び社会の形成者としてよりよい社会の実現のため、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている
 科目 政治経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べる技能を身に付ける。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに身に付けた判断基準を根拠に構想する力や構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を担おうとする自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 現代日本における政治・経済の諸課題 【知識及び技能】 政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務の関係について現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的多角的に考察し表現させる。	指導項目： ・政治と法の意義と機能について理解する。 ・基本的人権の保障と法の支配について理解する。 ・権利と義務の関係について理解する。 ・法の支配の考え方や基本的人権の歴史的な発展、立憲主義の考え方について理解する。 ・議会制民主主義と多数決原理、民主政治の課題について理解する。 ・各国の政治体制について理解する。 ・日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多角的に考察し、表現する。 教材： ・教科書 ・プレゼンテーションツール ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務の関係について現実社会の諸事象を通して理解を深められる。 【思考力、判断力、表現力等】 民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的多角的に考察し表現できる。	○	○		15
	定期考査			○	○		1
	A 現代日本における政治・経済の諸課題 【知識及び技能】 議会制民主主義、地方自治について現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 政党政治や選挙などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地方自治や我が国の民主政治の発展に寄与しようとする自覚や住民・国民としての自治意識の涵養に向けて民主政治における選挙の意義について意識させる。	指導項目： ・憲法上の平和主義の内容と日米安保体制が誕生した背景について理解する。 ・1990年代以降の安全保障体制の変容と今日の課題について理解する。 ・国会の役割や権限、運営について理解する。 ・内閣の権限や議院内閣制の仕組みについて理解する。 ・行政権の拡大と官僚政治の課題、その転換に向けた様々な改革について理解する。 ・司法権の独立や裁判の仕組み、各種裁判所役割について理解する。 ・違憲立法審査権について理解する。 ・裁判員制度や検察審査会の意義について理解する。 ・地方自治の本旨である団体自治と住民自治について理解する。 ・地方自治の政治的・経済的課題について理解する。 ・政党政治の課題について理解する。 ・政治的無関心や無党派層の増加などの課題について理解する。 教材： ・教科書 ・プレゼンテーションツール ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 政治参加と公正な世論の形成、地方自治、国家主権、領域、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割に関わる現実社会の事柄や課題を基により良い社会は憲法の下、個人が議論に参加し意見や利害の対立状況を調整して合意を形成する事などを通して築かれるものであることについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 前単元及び政治に関わる各事項を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成を視野に入れながらその主題の解決に向けて協働して考察・構想したことを根拠をもって表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 地方自治や我が国の民主政治の発展に寄与しようとする自覚や住民・国民としての自治意識の涵養に向けて民主政治における選挙の意義について意識している。	○	○	○	25
定期考査			○	○		1	

2 学 期	<p>A 現代日本における政治・経済の諸課題</p> <p>【知識及び技能】 職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢化における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて資源の効率的な配分が行われること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府が担っていること及びそれによって活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 前単元までに身につけた法・政治及び経済など側面を関連させ自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会選択を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察・構想したものを表現する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 多様な契約及び消費者の権利と責任などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、法や規範に基づいて権利や自由が保障、実現され社会の秩序が形成、維持されていくことについて意識を向ける。</p>	<p>指導項目： ・生産・分配・消費、希少性、トレードオフ、機会費用など、経済の根本的な概念について理解する。 ・資本主義経済の成立と展開、経済における政府の役割の変化について理解する。 ・需要と供給により価格と生産量が変化することについて理解する。 ・希少な資源の効率的配分をもたらす市場機構や、寡占や独占、外部不経済、情報の非対称性など市場機能の限界について理解する。 ・有限責任と無限責任の考え方や株式会社の仕組みについて理解する。 ・NIの生産・分配・支出のそれぞれの内容、GDPなどの経済指標では計りきれない福祉的側面からの指標や環境的側面からの指標、社会的側面からの指標などがあることについて理解する。 ・金融は、信用創造等により、家計や企業からの資金を様々な経済主体に投資することで資本を増加させ、生産性を高め、社会を豊かに発展させる役割を担っていることについて理解する。 ・中央銀行の役割や金融政策の目的と手段について理解する。 ・政府の経済政策には、効率と公正、経済成長と環境保全など、相互に対立する可能性のある目標の実現を調整する必要があることについて理解する。</p> <p>教材： ・教科書 ・プレゼンテーションツール ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢化における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて資源の効率的な配分が行われること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府が担っていること及びそれによって活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 前単元までに身につけた法・政治及び経済など側面を関連させ自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会選択を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察・構想したものを表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 多様な契約及び消費者の権利と責任などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、法や規範に基づいて権利や自由が保障、実現され社会の秩序が形成、維持されていくことについて意識している。</p>	○	○	○	20
定期	<p>定期考査</p>			○	○		1
2 学 期	<p>D 国際政治の動向と課題</p> <p>【知識及び技能】 国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり、国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとする意識をもつ。</p>	<p>指導項目： ・生産・分配・消費、希少性、トレードオフ、機会費用など、経済の根本的な概念について理解する。 ・資本主義経済の成立と展開、経済における政府の役割の変化について理解する。 ・需要と供給により価格と生産量が変化することについて理解する。 ・希少な資源の効率的配分をもたらす市場機構や、寡占や独占、外部不経済、情報の非対称性など市場機能の限界について理解する。 ・有限責任と無限責任の考え方や株式会社の仕組みについて理解する。 ・NIの生産・分配・支出のそれぞれの内容、GDPなどの経済指標では計りきれない福祉的側面からの指標や環境的側面からの指標、社会的側面からの指標などがあることについて理解する。 ・金融は、信用創造等により、家計や企業からの資金を様々な経済主体に投資することで資本を増加させ、生産性を高め、社会を豊かに発展させる役割を担っていることについて理解する。 ・中央銀行の役割や金融政策の目的と手段について理解する。 ・政府の経済政策には、効率と公正、経済成長と環境保全など、相互に対立する可能性のある目標の実現を調整する必要があることについて理解する。</p> <p>教材： ・教科書 ・プレゼンテーションツール ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢化における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて資源の効率的な配分が行われること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府が担っていること及びそれによって活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 前単元までに身につけた法・政治及び経済など側面を関連させ自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会選択を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察・構想したものを表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 多様な契約及び消費者の権利と責任などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、法や規範に基づいて権利や自由が保障、実現され社会の秩序が形成、維持されていくことについて意識している。</p>	○	○	○	20
定期	<p>定期考査</p>			○	○		1

2 学 期	<p>A 現代日本における政治・経済の諸課題</p> <p>【知識及び技能】 多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 前単元までに学習した法・政治・経済に関する知識を基に、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 多面的・多角的な考察や深い理解を通して多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用・労働問題、少子高齢化社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決する意識をもつ。</p>	<p>指導項目： ・戦後復興、高度経済成長期、安定成長期、現在の成長率バブル経済の発生と崩壊などの背景や要因について理解する。 ・中小企業が日本経済の発展に寄与してきた役割について理解する。 ・後継者不足のために黒字経営であっても廃業を選ぶ中小企業がある状況を知り、事業承継が課題となっていることについて理解する。 ・ベンチャー企業や社会的企業のように、大企業では事業を進められなかった分野で活躍する中小企業のあり方について理解する。 ・農業基本法や食料・農業・農村基本法、食糧管理制度や新食糧法などの農業政策の流れについて理解する。 ・食料安全保障の観点から、日本の食料自給率と貿易の関係について理解する。 ・典型的な消費者問題や悪質商法にはどのようなものがあるか理解する。 ・日本における公害の発生と原因について理解する。 ・労働基本権と労働三法の内容並びに職場における不当な差別的扱いがあつてはならず、そのための法整備と対策が急がれることについて理解する。 ・社会保障は高齢者だけのものではなく、社会に参加するすべての世代について検討されるべきものであることを理解する。</p> <p>教材： ・教科書 ・プレゼンテーションツール ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 前単元までに学習した法・政治・経済に関する知識を基に、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 多面的・多角的な考察や深い理解を通して多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用・労働問題、少子高齢化社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	25
	<p>B グローバル化する国際社会の諸問題</p> <p>【知識及び技能】 国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり、国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとする意識をもつ。</p>	<p>指導項目： ・主権国家と国際社会の成り立ちや国際社会には中央政府のようなものが存在しておらず、そのなかで各国が国家利益を調整する国際政治が行われていることについて理解する。 ・二度の世界大戦を契機として、国際法に大きな変化が生じたことを理解する。 ・国際司法裁判所や国際刑事裁判所が設立され、NGOをはじめ多様な主体が活動するなど、国際政治に変化が生じていることを理解する。 ・国際連盟の成立と崩壊の歴史的経緯、勢力均衡と集団安全保障の違いや、その機能について理解する。 ・冷戦構造の概要と共に冷戦終結後に民族紛争が多発したことを適切に読み取っている。また、国家間の戦争が対テロ戦争の様相を示した経緯について理解する。 ・民族問題について、問題の所在や解決に向けた働きかけの推移について理解する。 ・核抑止論の考え方について理解している。また、安全保障のジレンマのために軍縮が進めにくくなっている構造や核廃絶に向けた運動が盛り上がるなか、数々の軍縮条約が締結されていった経緯について理解する。 ・戦後の主権回復と国際社会への復帰についてその経緯を理解する。 ・アジア諸国との国交正常化が進められる一方、賠償のあり方をめぐって裁判が繰り返されるなど、根本的な解決には至っていない現状を理解する。</p> <p>教材： ・教科書 ・プレゼンテーションツール ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり、国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとする意識している。</p>	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1

3 学 期	<p>B グローバル化する国際社会の諸問題</p> <p>【知識及び技能】 各課題に関連する知識（小学校および中学校で習得した概念などに関する知識や『公共』で身に付けた選択・判断の手掛かりとなる考え方、国際政治および国際経済の基本的な概念や理論など）を整理し、理解させる。 各課題の解決に向けた考察・構想に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、各課題の解決策を多面的・多角的に考察、構想し、持続可能な社会の形成に向けた自身の考えを説明、論述させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現のために、国際社会の諸課題を主体的に追究し、他者との協働もはかりながら、多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとする態度の涵養を図る。</p>	<p>指導項目：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FTAやEPAがどのようなものであるのかを理解している。 ・EUを例として、どのように統合が深化していったかを理解している。 ・各地域でどのような経済統合が形成されていったかについて理解している。また、図から情報を読み取り、各地域的経済統合についての理解を深めている。 ・世界経済が密接に関連しあい、グローバル・バリューチェーンを形成していることを理解している。 ・新興国の中でも、とくに中国とインドが世界的な影響力を強めていることを理解している。 ・急速な経済成長を進める中国とインドが、国内において多様な課題をかかえていることを理解している。 ・アメリカと中国の経済状況の違いを適切に読み取っている。 ・中国やインドが“国際経済のなかで”直面している課題について、信頼性の高い情報源から収集し、適切に整理することができている（p.145/Try）。 <p>教材：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・プレゼンテーションツール ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識及び技能】 各課題に関連する知識（小学校および中学校で習得した概念などに関する知識や『公共』で身に付けた選択・判断の手掛かりとなる考え方、国際政治および国際経済の基本的な概念や理論など）を整理し、理解している。各課題の解決に向けた考察・構想に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、各課題の解決策を多面的・多角的に考察、構想し、持続可能な社会の形成に向けた自身の考えを説明、論述している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現のために、国際社会の諸課題を主体的に追究し、他者との協働もはかりながら、多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。</p>	○	○	○	10
-------------	--	--	---	---	---	---	----

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 公民 科目 政治経済演習

教科： 公民 科目： 政治経済演習 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 6 組
 教科担当者： (3組：小川) (4組：谷口) (5組：小川) (6組：谷口) (7組：小川)
 使用教科書： (実教 政治経済 704 政治経済)
 教科 公民 の目標：
 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念・理論及び倫理、政治、経済に関わる現代の諸課題について理解している
 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について事実を元に概念などを用いて多面的・多角的に考察し、解決策を公正に判断できる
 【学びに向かう力、人間性等】 国家及び社会の形成者としてよりよい社会の実現のため、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている
 科目 政治経済演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探求するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べる技能を身に付ける。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに身に付けた判断基準を根拠に構想する力や構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を担おうとする自覚を深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 現代日本における政治・経済の諸課題 【知識及び技能】 政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務の関係について現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的多角的に考察し表現させる。	指導項目： ・政治と法の意義と機能について理解する。 ・基本的人権の保障と法の支配について理解する。 ・権利と義務の関係について理解する。 ・法の支配の考え方や基本的人権の歴史的な発展、立憲主義の考え方について理解する。 ・議会制民主主義と多数決原理、民主政治の課題について理解する。 ・各国の政治体制について理解する。 ・日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多角的に考察し、表現する。 教材： ・教科書 ・プレゼンテーションツール ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務の関係について現実社会の諸事象を通して理解を深められる。 【思考力、判断力、表現力等】 民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的多角的に考察し表現できる。	○	○		6
			定期考査			
1 学期 A 現代日本における政治・経済の諸課題 【知識及び技能】 議会制民主主義、地方自治について現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 政党政治や選挙などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地方自治や我が国の民主政治の発展に寄与しようとする自覚や住民・国民としての自治意識の涵養に向けて民主政治における選挙の意義について意識させる。	指導項目： ・憲法上の平和主義の内容と日米安保体制が誕生した背景について理解する。 ・1990年代以降の安全保障体制の変容と今日の課題について理解する。 ・国会の役割や権限、運営について理解する。 ・内閣の権限や議院内閣制の仕組みについて理解する。 ・行政権の拡大と官僚政治の課題、その転換に向けた様々な改革について理解する。 ・司法権の独立や裁判の仕組み、各種裁判所役割について理解する。 ・違憲立法審査権について理解する。 ・裁判員制度や検察審査会の意義について理解する。 ・地本自治の本旨である団体自治と住民自治について理解する。 ・地方自治の政治的・経済的課題について理解する。 ・政党政治の課題について理解する。 ・政治的無関心や無党派層の増加などの課題について理解する。 教材： ・教科書 ・プレゼンテーションツール ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 政治参加と公正な世論の形成、地方自治、国家主権、領域、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割に関わる現実社会の事柄や課題を基により良い社会は憲法の下、個人が議論に参加し意見や利害の対立状況を調整して合意を形成する事などを通して築かれるものであることについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 前単元及び政治に関わる各事項を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成を視野に入れながらその主題の解決に向けて協働して考察・構想したことを根拠をもって表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 地方自治や我が国の民主政治の発展に寄与しようとする自覚や住民・国民としての自治意識の涵養に向けて民主政治における選挙の意義について意識している。	○	○	○	10
			定期考査			

2 学 期	<p>A 現代日本における政治・経済の諸課題</p> <p>【知識及び技能】 職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢化における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて資源の効率的な配分が行われること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府が担っていること及びそれによって活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 前単元までに身につけた法・政治及び経済など側面を関連させ自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会選択を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察・構想したものを表現する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 多様な契約及び消費者の権利と責任などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、法や規範に基づいて権利や自由が保障、実現され社会の秩序が形成、維持されていくことについて意識を向ける。</p> <p>定期考査</p>	<p>指導項目： ・生産・分配・消費、希少性、トレードオフ、機会費用など、経済の根本的な概念について理解する。 ・資本主義経済の成立と展開、経済における政府の役割の変化について理解する。 ・需要と供給により価格と生産量が変化することについて理解する。 ・希少な資源の効率的配分をもたらす市場機構や、寡占や独占、外部不経済、情報の非対称性など市場機能の限界について理解する。 ・有限責任と無限責任の考え方や株式会社の仕組みについて理解する。 ・NIの生産・分配・支出のそれぞれの内容、GDPなどの経済指標では計りきれない福祉的側面からの指標や環境的側面からの指標、社会的側面からの指標などがあることについて理解する。 ・金融は、信用創造等により、家計や企業からの資金を様々な経済主体に投資することで資本を増加させ、生産性を高め、社会を豊かに発展させる役割を担っていることについて理解する。 ・中央銀行の役割や金融政策の目的と手段について理解する。 ・政府の経済政策には、効率と公正、経済成長と環境保全など、相互に対立する可能性のある目標の実現を調整する必要があることについて理解する。</p> <p>教材： ・教科書 ・プレゼンテーションツール ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢化における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて資源の効率的な配分が行われること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府が担っていること及びそれによって活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 前単元までに身につけた法・政治及び経済など側面を関連させ自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会選択を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察・構想したものを表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 多様な契約及び消費者の権利と責任などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、法や規範に基づいて権利や自由が保障、実現され社会の秩序が形成、維持されていくことについて意識している。</p>	○	○	○	8
	<p>D 国際政治の動向と課題</p> <p>【知識及び技能】 国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり、国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとする意識をもつ。</p> <p>定期考査</p>	<p>指導項目： ・生産・分配・消費、希少性、トレードオフ、機会費用など、経済の根本的な概念について理解する。 ・資本主義経済の成立と展開、経済における政府の役割の変化について理解する。 ・需要と供給により価格と生産量が変化することについて理解する。 ・希少な資源の効率的配分をもたらす市場機構や、寡占や独占、外部不経済、情報の非対称性など市場機能の限界について理解する。 ・有限責任と無限責任の考え方や株式会社の仕組みについて理解する。 ・NIの生産・分配・支出のそれぞれの内容、GDPなどの経済指標では計りきれない福祉的側面からの指標や環境的側面からの指標、社会的側面からの指標などがあることについて理解する。 ・金融は、信用創造等により、家計や企業からの資金を様々な経済主体に投資することで資本を増加させ、生産性を高め、社会を豊かに発展させる役割を担っていることについて理解する。 ・中央銀行の役割や金融政策の目的と手段について理解する。 ・政府の経済政策には、効率と公正、経済成長と環境保全など、相互に対立する可能性のある目標の実現を調整する必要があることについて理解する。</p> <p>教材： ・教科書 ・プレゼンテーションツール ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢化における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて資源の効率的な配分が行われること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府が担っていること及びそれによって活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 前単元までに身につけた法・政治及び経済など側面を関連させ自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会選択を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察・構想したものを表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 多様な契約及び消費者の権利と責任などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、法や規範に基づいて権利や自由が保障、実現され社会の秩序が形成、維持されていくことについて意識している。</p>	○	○	○	10

	<p>A 現代日本における政治・経済の諸課題</p> <p>【知識及び技能】 多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 前単元までに学習した法・政治・経済に関する知識を基に、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 多面的・多角的な考察や深い理解を通して多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用・労働問題、少子高齢化社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決する意識をもつ。</p>	<p>指導項目： ・戦後復興、高度経済成長期、安定成長期、現在の成長率パブル経済の発生と崩壊などの背景や要因について理解する。 ・中小企業が日本経済の発展に寄与してきた役割について理解する。 ・後継者不足のために黒字経営であっても廃業を選ぶ中小企業がある状況を知り、事業承継が課題となっていることについて理解する。 ・ベンチャー企業や社会的企業のように、大企業では事業を進められなかった分野で活躍する中小企業のあり方について理解する。 ・農業基本法や食料・農業・農村基本法、食糧管理制度や新食糧法などの農業政策の流れについて理解する。 ・食料安全保障の観点から、日本の食料自給率と貿易の関係について理解する。 ・典型的な消費者問題や悪質商法にはどのようなものがあるか理解する。 ・日本における公害の発生と原因について理解する。 ・労働基本権と労働三法の内容並びに職場における不当な差別的扱いがあつてはならず、そのための法整備と対策が急がれることについて理解する。 ・社会保障は高齢者だけのものではなく、社会に参加するすべての世代について検討されるべきものであることを理解する。</p> <p>教材： ・教科書 ・プレゼンテーションツール ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 前単元までに学習した法・政治・経済に関する知識を基に、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 多面的・多角的な考察や深い理解を通して多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用・労働問題、少子高齢化社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	12
2 学 期	<p>B グローバル化する国際社会の諸問題</p> <p>【知識及び技能】 国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり、国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとする意識をもつ。</p>	<p>指導項目： ・主権国家と国際社会の成り立ちや国際社会には中央政府のようなものが存在しておらず、そのなかで各国が国家利益を調整する国際政治が行われていることについて理解する。 ・二度の世界大戦を契機として、国際法に大きな変化が生じたことを理解する。 ・国際司法裁判所や国際刑事裁判所が設立され、NGOをはじめ多様な主体が活動するなど、国際政治に変化が生じていることを理解する。 ・国際連盟の成立と崩壊の歴史的経緯、勢力均衡と集団安全保障の違いや、その機能について理解する。 ・冷戦構造の概要と共に冷戦終結後に民族紛争が多発したことを適切に読み取っている。また、国家間の戦争が対テロ戦争の様相を示した経緯について理解する。 ・民族問題について、問題の所在や解決に向けた働きかけの推移について理解する。 ・核抑止論の考え方について理解している。また、安全保障のジレンマのために軍縮が進めにくくなっている構造や核廃絶に向けた運動が盛り上がるなか、数々の軍縮条約が締結されていった経緯について理解する。 ・戦後の主権回復と国際社会への復帰についてその経緯を理解する。 ・アジア諸国との国交正常化が進められる一方、賠償のあり方をめぐって裁判が繰り返されるなど、根本的な解決には至っていない現状を理解する。</p> <p>教材： ・教科書 ・プレゼンテーションツール ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり、国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとして意識している。</p>	○	○	○	20
定期 考 査				○	○		

3 学 期	<p>B グローバル化する国際社会の諸問題</p> <p>【知識及び技能】 各課題に関連する知識（小学校および中学校で習得した概念などに関する知識や『公共』で身に付けた選択・判断の手掛かりとなる考え方、国際政治および国際経済の基本的な概念や理論など）を整理し、理解させる。 各課題の解決に向けた考察・構想に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、各課題の解決策を多面的・多角的に考察、構想し、持続可能な社会の形成に向けた自身の考えを説明、論述させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現のために、国際社会の諸課題を主体的に追究し、他者との協働もはかりながら、多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとする態度の涵養を図る。</p>	<p>指導項目：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FTAやEPAがどのようなものであるのかを理解している。 ・EUを例として、どのように統合が深化していったかを理解している。 ・各地域でどのような経済統合が形成されていったかについて理解している。また、図から情報を読み取り、各地域的経済統合についての理解を深めている。 ・世界経済が密接に関連しあい、グローバル・バリューチェーンを形成していることを理解している。 ・新興国の中でも、とくに中国とインドが世界的な影響力を強めていることを理解している。 ・急速な経済成長を進める中国とインドが、国内において多様な課題をかかえていることを理解している。 ・アメリカと中国の経済状況の違いを適切に読み取っている。 ・中国やインドが“国際経済のなかで”直面している課題について、信頼性の高い情報源から収集し、適切に整理することができている（p.145/Try）。 <p>教材：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・プレゼンテーションツール ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識及び技能】 各課題に関連する知識（小学校および中学校で習得した概念などに関する知識や『公共』で身に付けた選択・判断の手掛かりとなる考え方、国際政治および国際経済の基本的な概念や理論など）を整理し、理解している。各課題の解決に向けた考察・構想に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、各課題の解決策を多面的・多角的に考察、構想し、持続可能な社会の形成に向けた自身の考えを説明、論述している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現のために、国際社会の諸課題を主体的に追究し、他者との協働もはかりながら、多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>合計 70</p>						